

ISO 9001:2015 監査チェックリスト

テンプレート情報

テンプレートID	iso-9001-2015-audit-checklist
版	v1.0
言語	日本語 (ja)
チェック項目数	165
出典	https://layeraudit.com
改訂日	2026-10-27
説明	説明：品質管理システムをISO 9001:2015に準拠するかどうかを検証する。

監査情報 (監査時に記入)

監査日	
監査者	
監査対象エリア / 部門	
同行者	

使用方法

1. 本テンプレートは 165 件のチェック項目で構成されています。結果は「チェックリスト」シートに記入してください。
2. 元ファイルには合否判定の選択肢が定義されていません。貴社の基準に従って結果を記入してください (例：適合 / 不適合 / 対象外)。
3. 得点・結論・署名は「評価と署名」シートに手動で記入します。
4. 写真などの証拠が必要な場合は「備考 / 証拠番号」列に証拠番号を記入し、写真を番号で管理してください。
5. チェック項目番号は連続番号に再採番しています。元ファイルの行番号との対応は納品パッケージの「编号対応表.xlsx」に記載しています。

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証跡番号
	序言	この内部自查は、お客様の品質管理システムのISOの適合性を評価します。 9001:2015. 必要な場合、項目に証拠を添付し、最終章でこの評価を署名して完了することを忘れないでください。		
1	4.1 組織とその背景を理解する	組織が目的と戦略的方向性に関連した外部および内部問題をどのように決定したかを確認する。		
2	4.1 組織とその背景を理解する	これらの問題は、QMSの意図された結果を達成する能力にどのように影響を与えるかを検証する。		
3	4.1 組織とその背景を理解する	組織がこれらの内部および外部問題に関する情報をどのように監視し、レビューするかを確認する。		
4	4.2 関心者のニーズと期待を理解する	組織がQMSに関連する関係者をどのように決定したかを確認する。		
5	4.2 関心者のニーズと期待を理解する	組織が関係者のニーズと期待をどのように決定したかを確認する。		
6	4.2 関心者のニーズと期待を理解する	組織が関係者の影響または潜在的な影響をどのように決定したかを検証する。		
7	4.2 関心者のニーズと期待を理解する	組織が関係者に関する情報とその関連要件をどのように監視し、レビューするかを確認する。		
8	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	検証QMSの範囲は以下のものを考慮します。		
8	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	外部・ 内部問題	☐	
8	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	関連関係者の要求	☐	
8	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	組織の製品とサービス	☐	
9	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	組織内でISO 9001:2015規格がどのように適用されるかを組織が決定した方法を確認する。		
10	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	組織がISO 9001:2015標準の要求のうちのいずれかを適用されないと判断した場合は、製品およびサービスの適合性を示してください影響を受けない。		
11	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	QMSの範囲を検証する文書が記載されています。		
12	4.3 品質管理システムの範囲を決定する	検証範囲は、QMSに含まれる製品やサービスの種類と、要求が適用できない場合を正当化する方法を示します。		
13	4.4 品質管理システムとそのプロセス	プロセスがどのように決定され相互作用するかを示してください		
14	4.4 品質管理システムとそのプロセス	QMSのプロセスがどのように決定されたかを確認し、プロセスへの入力と出力を確認する。		
15	4.4 品質管理システムとそのプロセス	プロセスの順序と相互作用を検証する。		
16	4.4 品質管理システムとそのプロセス	プロセスを操作および制御するために必要な基準、方法、測定および関連性能指標を検証する。		
17	4.4 品質管理システムとそのプロセス	資源の決定と配分を検証する。		
18	4.4 品質管理システムとそのプロセス	責任と権限がどのように決定されるかを確認する。		
19	4.4 品質管理システムとそのプロセス	リスクと機会がどのように検討され、それに対処するためにどのような措置が取られているかを検証する。		
20	4.4 品質管理システムとそのプロセス	プロセスを監視、測定、評価するためにどのような方法が用いられているかを確認し、必要に応じて意図された結果を達成するために変更が実施されているかを確認する。		
21	4.4 品質管理システムとそのプロセス	QMSとそのプロセスの改善の機会がどのように決定されているかを確認する。		
22	4.4 品質管理システムとそのプロセス	プロセスの運用を支援するために作成された文書化された情報をレビューする。		
23	5.1 リーダーシップとコミットメント	最高経営陣が特定される		
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	管理層がリーダーシップとコミットメントを示していることを確認する		

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証拠番号
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	QMSの有効性について責任を取ること	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	QMSの政策と目標が確立され、戦略的方向と組織背景に適合していることを確保する	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	QMSが組織のビジネスプロセスに統合されることを確保する	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	プロセスアプローチの利用とリスクに基づく考え方を促進する	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	資源の確保	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	効果的なQMSとその要求に適合する重要性を伝える	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	意図された成果の確保	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	QMSの有効性を高めるために、参加、指導、支援する人材を募集する	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	継続的な改善を促進する	☐	
24	5.1 リーダーシップとコミットメント	他の関連管理職を支援し、そのリーダーシップが、その責任の分野に適用されるように実証される	☐	
25	5.1 リーダーシップとコミットメント	顧客を中心にリーダーシップとコミットメントを示すことを確認し、		
25	5.1 リーダーシップとコミットメント	顧客及び適用される法定および規制要件が決定され、理解され、一貫して満たされます。	☐	
25	5.1 リーダーシップとコミットメント	製品およびサービスの適合性及び顧客満足度を向上させる能力に影響するリスクと機会が決定され、対処されます。	☐	
25	5.1 リーダーシップとコミットメント	顧客満足度向上を重視する。	☐	
26	5.2 政策	品質方針を確認する		
26	5.2 政策	組織の目的と背景に適しており、その戦略的方向性を支える。	☐	
26	5.2 政策	質の目標を設定するための枠組みを提供します。	☐	
26	5.2 政策	適用される要件を満たす約束を含みます。	☐	
26	5.2 政策	QMSの継続的な改善へのコミットメントを含みます。	☐	
27	5.2 政策	検証QMSポリシーは文書化された情報として保持されます。		
28	5.2 政策	QMS ポリシーを検証する組織内で伝え、理解し、適用されます。		
29	5.2 政策	検証QMSポリシーは関係関係者向けに利用可能である。		
30	5.3 組織的役割、責任及び権限	組織内の関連役割の責任と権限を検証し、伝える		
31	5.3 組織的役割、責任及び権限	責任と権限を委ねていることを確認する		
31	5.3 組織的役割、責任及び権限	QMSがISO 9001:2015規格に準拠することを確保する。	☐	
31	5.3 組織的役割、責任及び権限	プロセスが意図された成果を出すことを確保する。	☐	
31	5.3 組織的役割、責任及び権限	QMSのパフォーマンスと改善の機会、特に最高経営陣に報告する。	☐	
31	5.3 組織的役割、責任及び権限	組織全体で顧客重視の促進を保証する。	☐	
31	5.3 組織的役割、責任及び権限	QMSへの変更が計画され実行される際、QMSの整体性を維持することを保証する。	☐	
32	6.1 リスクと機会に対処するための措置	QMSの計画において、内部・外部問題や関係者への配慮を検証する？		
33	6.1 リスクと機会に対処するための措置	リスクと機会がどのように決定され、対処されているかを確認し、QMSが意図された結果を達成し、望ましくない影響を予防し、軽減し、達成できるようにする継続的な改善		
34	6.1 リスクと機会に対処するための措置	リスクと機会に対処するための行動がどのように計画されているかを検証する。		
35	6.1 リスクと機会に対処するための措置	QMSプロセスにアクションがどのように統合され、実装されているかを検証する。		

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証跡番号
36	6.1 リスクと機会に対処するための措置	組織が行動の有効性をどのように評価するかを確認する。		
37	6.1 リスクと機会に対処するための措置	製品の適合性への潜在的な影響に適していると判断されたリスクと機会に対処するための措置がどのように取られているかを検証し、サービス		
38	6.2 品質目標とその達成のための計画	品質目標が関連機能、レベル、プロセスで設定されていることを確認する。		
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	質の目標を確認する		
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	品質政策に一致する。	☐	
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	測定可能	☐	
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	適用される要件を考慮して。	☐	
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	商品やサービスの適合性及び顧客満足度を向上させるために関連性がある。	☐	
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	監視された	☐	
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	通信された	☐	
39	6.2 品質目標とその達成のための計画	適当に更新された。	☐	
40	6.2 品質目標とその達成のための計画	検証目標が文書化されています。		
41	6.2 品質目標とその達成のための計画	組織が何を行うのか、どの資源で、いつ完了するか、そして質の目標のために結果がどのように評価されるかを確認する。		
42	6.3 変化の計画	QMSの変更が体系的に計画されていることを確認する。		
43	6.3 変化の計画	組織が変化の目的と潜在的結果を示す方法を確認する。		
44	6.3 変化の計画	組織がQMSの整体性をどのように評価するかを確認する。		
45	6.3 変化の計画	資源がどのように利用できるかを確認する。		
46	6.3 変化の計画	責任と権限がどのように割り当てられ、どのように再分配されるかを確認する。		
47	7.1 資源	組織のための資源がどのように決定されているかを確認する。		
48	7.1 資源	内部資源の能力と制約がどう考えられているか教えて下さい		
49	7.1 資源	外部のプロバイダーからの需要がどう考慮されるかを教えて下さい		
50	7.1 資源	組織がQMSに適用される法定および規制の要件を一貫して満たすために必要な人材をどのように提供しているか確認する必要なプロセスは		
51	7.1 資源	組織が製品およびサービスの適合性を達成するためのプロセスの運用のためのインフラストラクチャをどのように決定し、提供し、維持するかを検証する。		
52	7.1 資源	組織が製品およびサービスの適合性を達成するためのプロセスの運用環境をどのように決定し、提供し、維持するかを検証する。		
53	7.1 資源	適切な信頼性のある監視および測定結果を確保するために資源がどのように決定されているかを検証する。		
54	7.1 資源	組織が提供された資源が、実施されている特定タイプの監視および測定活動に適していることをどのように確保するか検証する目的の継続的な適性を確保するために維持される。		
55	7.1 資源	監視および測定資源の目的のために適性を示す文書化された情報を検証する。		
56	7.1 資源	測定器具が特定の間隔で国内や国際基準に準拠して検証されるか校正されるか教えて下さいカリブレーションまたは検証の基礎として使用される文書化された情報。		
57	7.1 資源	測定装置の識別方法を教えて下さい		
58	7.1 資源	測定器が調整、損傷、劣化から守られる方法を教えて下さい		
59	7.1 資源	検査または校正中に機器が欠陥があることが確認された場合、組織が以前の測定の有効性をどのように判断するかを確認します。実行された措置を検証する		
60	7.1 資源	プロセス運用に必要な知識を組織がどのように決定し、製品およびサービスの適合性を達成するかを検証する。		
61	7.1 資源	知識が必要に応じて維持され、利用可能になる方法を検証する。		
62	7.1 資源	組織が現在の知識をどのように決定し、変化するニーズや傾向に対処する際に、どのように追加の知識を得ているかを確認する。		

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証拠番号
63	7.2 能力	あなたのコントロール下での仕事をする人の必要な能力が性能に影響を与える方法を教えて下さい		
64	7.2 能力	適切な教育や訓練や経験に基づいて能力の判断方法を示してください。		
65	7.2 能力	必要に応じて必要な能力を得るための行動をとり、その行動の有効性をどのように評価するかを教えて下さい。		
66	7.2 能力	適切な場合、資格の証明として文書化された情報を検証する。		
67	7.3 意識	組織が管理する仕事をしている人が知っていることを確認する		
67	7.3 意識	品質政策	☐	
67	7.3 意識	関連品質目標	☐	
67	7.3 意識	品質管理システムの有効性への貢献、包括して性能向上による利益。	☐	
67	7.3 意識	QMSの要求に合致しないことによる影響	☐	
68	7.4 コミュニケーション	内部と外部通信プロセスを検証する (何を、いつ、誰と、どのようにコミュニケーションをとるか)。		
69	7.5 文書化された情報	ISO 9001:2015規格に要求される文書化された情報を検証する。		
70	7.5 文書化された情報	QMSの有効性を示す文書化された情報を検証する。		
71	7.5 文書化された情報	文書化された情報には適切な識別、フォーマット (言語、ソフトウェアバージョン、グラフィック...) とメディア (紙、電子、...)。		
72	7.5 文書化された情報	文書化された情報はどのように検討され、適性や適性について承認されるかを示してください。		
73	7.5 文書化された情報	文書化された情報をどのように管理し、利用可能にし、文書化された情報をどのように保護するかを教えて下さい。		
74	7.5 文書化された情報	組織が配布、アクセス、取得、使用、保管、保存、読み取れ性、変更の制御、保存および処分をどのように制御するかを検証する文書化された情報		
75	7.5 文書化された情報	外部の起源の文書化された情報を検証する。		
76	8.1 運用計画と制御	製品およびサービスの要求を満たすために必要なプロセスを組織がどのように計画し、実施し、制御したかを確認する。		
77	8.1 運用計画と制御	製品およびサービスに対する要求がどのように決定されるかを確認する。		
78	8.1 運用計画と制御	製品およびサービスのプロセスおよび受け入れ基準がどのように決定されているかを確認する。		
79	8.1 運用計画と制御	資源がどのように決定されるかを確認する。		
80	8.1 運用計画と制御	プロセス制御がどのように実施されているかを確認する。		
81	8.1 運用計画と制御	計画通りに行われたプロセスを証明し、製品やサービスの適合性を証明できる文書化された情報を示してください。		
82	8.1 運用計画と制御	計画プロセスからの出力が運用に適している方法を決定する。		
83	8.1 運用計画と制御	計画された変化がどのように制御されているか、意図しない変化がどのように検討されているか、必要に応じて有害な影響を軽減するためにどのような措置が取られているかを確認する。		
84	8.1 運用計画と制御	アウトソーシングプロセスがどのように制御されているかを確認する。		
85	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	製品、サービス、問い合わせ、契約、注文処理、顧客意見に関する情報に関する顧客とのコミュニケーションのために作成されたプロセスを検証する。顧客財産の認識と苦情、処理または処理、および緊急事態対策に関する特定の要求。		
86	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	潜在的な顧客に提供される製品やサービスの要求と、そのプロセスがどのように確立され、実施され、維持された		
87	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	法定および規制要件を含む製品およびサービス要件がどのように定義されているかを確認する。組織が定義された要件及びその製品及びサービスに関するいかなる主張を根拠とする。		
88	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	組織がどう評価するかを確認する		
88	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	配達および配達後の顧客要件	☐	
88	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	お客様の指定または意図された使用に必要な要件、既知の場合。	☐	
88	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	製品およびサービスに適用される法定および規制要件。	☐	
88	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	その他の契約または注文要件	☐	
89	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	顧客に製品やサービスを提供する組織のコミットメントの前にレビューが行われていることを示してください		
90	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	契約または注文の要件が以前に定義されたものとは異なることを組織がどのように解決するかを確認する。		

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証跡番号
91	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	組織が顧客の要求を確認する方法を確認します顧客が文書化された声明を提供していない場合。		
92	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	製品やサービスに対する新しいまたは変更された要求を記述するレビューの文書化された情報を検証する。		
93	8.2 製品及びサービスに対する要求の決定	修正されたレビューに関する文書化された情報と、関連する職員にこれらの変更についてどのように知らせられているかを検証する。		
94	8.3 製品及びサービスの設計及び開発	設計・ 開発プロセスの確立、実施、維持方法を検証する。		
95	8.3.2 設計・ 開発計画	設計・ 開発の段階と制御を決定する際には、組織が考慮していることを確認する。		
95	8.3.2 設計・ 開発計画	活動の性質、期間、複雑性。	☐	
95	8.3.2 設計・ 開発計画	適用可能な審査を含む特定のプロセス段階を特定する要求。	☐	
95	8.3.2 設計・ 開発計画	必須の検証と検証。	☐	
95	8.3.2 設計・ 開発計画	責任と権限	☐	
95	8.3.2 設計・ 開発計画	個人と当事者間のインターフェースの制御方法	☐	
95	8.3.2 設計・ 開発計画	顧客とユーザーグループの関与の必要性	☐	
96	8.3.2 設計・ 開発計画	設計・ 開発要件が満たされていることを確認する文書化された情報を確認する。		
97	8.3.3 設計・ 開発インプット	設計及び開発される製品及びサービスの種類に不可欠な要件を決定する際には、組織は考慮しなければならない。		
97	8.3.3 設計・ 開発インプット	機能と性能の要求	☐	
97	8.3.3 設計・ 開発インプット	以前の類似の設計開発活動から得られた情報	☐	
97	8.3.3 設計・ 開発インプット	法律および規制の要求。	☐	
97	8.3.3 設計・ 開発インプット	組織が実施することを約束した標準や慣習規範。	☐	
97	8.3.3 設計・ 開発インプット	製品やサービスの性質による失敗の可能性	☐	
98	8.3.3 設計・ 開発インプット	入力が完全で曖昧でないことを確認する。		
99	8.3.3 設計・ 開発インプット	設計および開発インプットに関する文書化された情報を検証する。		
100	8.3.4 設計・ 開発制御	設計・ 開発プロセスに制御を適用していることを確認する		
100	8.3.4 設計・ 開発制御	達成される結果が定義される。	☐	
100	8.3.4 設計・ 開発制御	設計・ 開発の結果が要求に応える能力を評価するために審査が行われます。	☐	
100	8.3.4 設計・ 開発制御	製造された製品およびサービスが指定された用途または意図された用途の要件を満たしていることを確認するために検証活動が行われます。	☐	
100	8.3.4 設計・ 開発制御	検証活動が実施され、その結果生じる製品およびサービスが指定されたアプリケーションまたは意図された用途の要件を満たしていることを確認する。	☐	
100	8.3.4 設計・ 開発制御	審査、または検証および検証活動において確認された問題に対して必要な措置が取られる。	☐	
101	8.3.4 設計・ 開発制御	これらの活動に関する文書化された情報を確認する。		
102	8.3.5 設計・ 開発成果	組織が設計・ 開発成果を保証する		
102	8.3.5 設計・ 開発成果	入力要件を満たす。	☐	
102	8.3.5 設計・ 開発成果	製品及びサービスの提供における後のプロセスに適しています。	☐	
102	8.3.5 設計・ 開発成果	適切な監視および測定要件および受け入れ基準を含むが参照する。	☐	
102	8.3.5 設計・ 開発成果	商品やサービスの特徴を特定し、その目的のために不可欠であり、安全かつ適切に提供される。	☐	
103	8.3.5 設計・ 開発成果	設計・ 開発成果に関する文書化された情報を確認する。		
104	8.3.6 設計及び開発の変更	組織が製品およびサービスの設計および開発中に、またはその後の変更を特定し、レビューし、管理する要求の遵守に悪影響を及ぼさないように必要な範囲。		
105	8.3.6 設計及び開発の変更	設計・ 開発変更、審査の結果、変更の承認、有害な防止対策に関する文書化された情報を検証する影響は維持されます。		
106	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	組織が外部に提供するプロセス、製品、サービスが指定された要件に適合していることを確認する。		

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証跡番号
107	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	外部提供されたプロセス、製品およびサービスに適用される制御を検証する組織自身の製品やサービス、製品やサービスは、顧客に直接提供されるか、プロセス、またはプロセスの一部は、組織が決定した結果、外部プロバイダー。		
108	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	組織が外部プロバイダの評価、選択、パフォーマンスモニタリング、再評価のための基準をどのように決定し、適用するかを検証する。		
109	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	評価から生じる活動や行動に関する文書化された情報を検証する。		
110	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	プロセス、製品およびサービスの外部提供およびその結果となる輸出に適用される制御を組織がどのように決定するかを検証する。		
111	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	組織が外部に提供されるプロセス、製品、サービスの潜在的影響を顧客と顧客との出会いへの能力にどのように考慮しているか検証する適用される法定および規制要件。		
112	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	外部のプロバイダが実施する制御の有効性を検証する。		
113	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	組織が外部に提供されるプロセス、製品、サービスが満たされていることを確保するために必要な検証、またはその他の活動をどのように決定するか検証する要求について		
114	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	組織が外部プロバイダーに要求事項を伝えることを確認する		
114	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	提供されるプロセス、製品、サービス。	☐	
114	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	製品及びサービスの承認、方法、プロセス及び機器、および製品及びサービスのリリース。	☐	
114	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	資格、包括して必要な人材の資格。	☐	
114	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	外部プロバイダの組織との相互作用	☐	
114	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	組織が適用する外部プロバイダのパフォーマンスの制御とモニタリング	☐	
114	8.4 外部提供されたプロセス、製品およびサービスの制御	組織またはその顧客が外部プロバイダの施設で実施することを意図する検証または検証活動。	☐	
115	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	生産される製品、提供されるサービス、または実施すべき活動と達成すべき結果。		
116	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	適切な監視と測定資源の利用と利用を検証する。		
117	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	適切な段階での監視および測定活動の実施を検証し、プロセスまたは出力の制御のための基準を検証し、製品やサービスに対する受け入れ基準が満たされている。		
118	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	プロセスの運用のために適切なインフラと環境の利用を検証する。		
119	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	必要な資格を含む権限のある人の任命を検証する。		
120	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	生産及びサービス提供プロセスにおける計画された結果を達成する能力の検証及び定期的な再確認を確認する結果の出力は、次回の監視または測定によって検証できない。		
121	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	人間のエラーを防ぐための行動の実施を検証する (例えば、ボークヨク、視覚的な位置、チェックリスト、緊急停止、テンプレート、文書制御、 ...)		

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証跡番号
122	8.5.1 生産及びサービス提供の管理	放出、配送および配送後の活動の実施を検証する。		
123	8.5.2 識別と追跡性	組織がプロセスからの出力をどのように識別するかを確認し、適合性を確保する。		
124	8.5.2 識別と追跡性	プロセス出力の状態を組織がどのように識別する		
125	8.5.2 識別と追跡性	追跡可能性が求められている場合、組織がプロセス出力のユニークな識別をどのように制御するかを確認する。必要に応じて		
126	8.5.3 顧客または外部プロバイダーに属する財産	顧客や外部事業者の財産にどのような配慮が与えられているのか。		
127	8.5.3 顧客または外部プロバイダーに属する財産	組織が利用または統合のために提供された顧客または外部プロバイダーの財産を識別、検証、保護および保護する方法を確認する組織の製品やサービスに		
128	8.5.3 顧客または外部プロバイダーに属する財産	損害を受けた物件や使用に不適している物件に関する保存された文書化された情報を検証する。		
129	8.5.4 保存	要求に適合することを保証するために、組織がプロセス輸出の保存をどのように確保するかを確認する。		
130	8.5.5 配送後の活動	チェック組織は、配送後の活動に適合するために、以下のことを考えます。		
130	8.5.5 配送後の活動	法定および規制要件	☐	
130	8.5.5 配送後の活動	製品やサービスに伴う潜在的な不必要な影響	☐	
130	8.5.5 配送後の活動	その製品およびサービスの性質、使用および意図された使用期間	☐	
130	8.5.5 配送後の活動	お客様の要求	☐	
130	8.5.5 配送後の活動	顧客からのフィードバック	☐	
131	8.5.6 変化の制御	組織が生産またはサービス提供に関する変更をどのように検討し、制御するかを確認する。		
132	8.5.6 変化の制御	変更の審査の結果、変更を許可する人(人)と、発生する必要な措置を記述する保存された文書化された情報を検証するレビューから		
133	8.6 製品及びサービスのリリース	製品およびサービスの要件が満たされていることを適切な段階で確認する。		
134	8.6 製品及びサービスのリリース	商品やサービスが顧客に提供されず、予定された安排が満足に完了するまで、関連当局と、該当する場合には、顧客によって。		
135	8.6 製品及びサービスのリリース	受け入れ基準の適合と、公開を許可する人に追跡性の証拠を示す保存された文書化された情報を検証する。		
136	8.7 不適合の輸出の制御	要求に適合しない出力が特定され、制御されていることを確認する。		
137	8.7 不適合の輸出の制御	適合しない製品やサービスについて適切な措置が取られていることを確認する(製品配送後、またはサービス提供中に/その後も含む)。		
137	8.7 不適合の輸出の制御	修正	☐	
137	8.7 不適合の輸出の制御	商品及びサービスの分離、封鎖、帰還又は停止	☐	
137	8.7 不適合の輸出の制御	顧客に知らせる	☐	
137	8.7 不適合の輸出の制御	譲渡による承認取得	☐	
138	8.7 不適合の輸出の制御	適合していない出力が修正された場合、要求に適合性を確認する。		
139	8.7 不適合の輸出の制御	違反を記述し、取られた措置を記述し、取得した譲歩を記述し、違反に関する措置を決定する権限。		
140	9.1 監視、測定、分析、評価	組織が監視・測定すべきもの、使用する方法、いつ実施、分析・評価されるかを決定したことを確認する。		
141	9.1 監視、測定、分析、評価	組織はQMSのパフォーマンスと有効性を評価する。		
142	9.1 監視、測定、分析、評価	適切な文書化された情報を保存したレビュー		
143	9.1 監視、測定、分析、評価	組織は顧客のニーズと期待が満たされた程度に対する認識を監視します。		
144	9.1 監視、測定、分析、評価	組織が分析し評価する		
144	9.1 監視、測定、分析、評価	製品及びサービスの適合性	☐	
144	9.1 監視、測定、分析、評価	顧客満足度	☐	
144	9.1 監視、測定、分析、評価	QMSの性能と有効性	☐	
144	9.1 監視、測定、分析、評価	計画が効果的に実施された場合。	☐	

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — チェックリスト

No.	区分	チェック項目	結果	備考 / 証跡番号
144	9.1 監視、測定、分析、評価	リスクと機会に対処するための措置の有効性	☐	
144	9.1 監視、測定、分析、評価	外部プロバイダの業績	☐	
144	9.1 監視、測定、分析、評価	QMSの改善の必要性	☐	
145	9.2 内部監査	検証監査は計画された間隔で行われます		
146	9.2 内部監査	検証組織は内部監査プログラムを作成し、実施し、維持している		
147	9.2 内部監査	プロセスの大切さを確認し、組織に影響を与える変化と以前の監査の結果を考慮する		
148	9.2 内部監査	監査基準を検証し、各監査の範囲が作成される		
149	9.2 内部監査	監査者は客観的で公正です		
150	9.2 内部監査	関連管理に報告される監査結果		
151	9.2 内部監査	適切な修正を確認し、修正措置が直ちに取られることを確認する		
152	9.2 内部監査	保存された文書化された情報をレビューする		
153	9.3 経営審査	計画された間隔でQMSの管理審査を検証する		
154	9.3 経営審査	管理審査への入力を検証するには、次のものがある。		
154	9.3 経営審査	過去の管理審査による行動の状況	☐	
154	9.3 経営審査	QMS に関する外部・内部の問題の変化	☐	
154	9.3 経営審査	顧客満足度と関係関係者からのフィードバック	☐	
154	9.3 経営審査	品質目標が達成された程度	☐	
154	9.3 経営審査	製品及びサービスのプロセス性能及び適合性	☐	
154	9.3 経営審査	不適合と修正措置	☐	
154	9.3 経営審査	監視と測定結果	☐	
154	9.3 経営審査	監査結果	☐	
154	9.3 経営審査	外部プロバイダの業績	☐	
154	9.3 経営審査	資源の充実性	☐	
154	9.3 経営審査	リスクと機会に対処するための措置の有効性	☐	
154	9.3 経営審査	改善の機会	☐	
155	9.3 経営審査	管理審査の出力を検証するには、以下のものがある。		
155	9.3 経営審査	改善の機会	☐	
155	9.3 経営審査	QMS に変更が必要となったら	☐	
155	9.3 経営審査	資源の必要性	☐	
156	9.3 経営審査	保存された文書化された情報を検証する		
157	10.1 一般	組織が製品やサービスを改善するための改善の機会を決定し、選択し、修正し、望ましくない影響を防止し、軽減するQMSの性能と有効性を向上させる。		
158	10.2 不適合と改正措置	組織が不適合に反応する方法を検証し、苦情を含めて、それを制御し、修正するためにどのように行動し、影響は		
159	10.2 不適合と改正措置	組織が不適合の原因を排除するための行動の必要性をどのように評価するかを確認し、他の場所で再発したり起こらないようにします。		
160	10.2 不適合と改正措置	組織が必要な行動を実行する方法を確認する。		
161	10.2 不適合と改正措置	組織が実施した行動の有効性をどのように評価するかを確認する。		
162	10.2 不適合と改正措置	計画中に決定されたリスクと機会を必要に応じて組織が更新していることを確認する。		
163	10.2 不適合と改正措置	必要な場合、QMSに変更を確認する。		
164	10.2 不適合と改正措置	保存された文書化された情報を検証し、不適合性とその後の措置及び補正措置		
165	10.3 継続的な改善	組織が継続的に改善する方法を確認します。分析と評価の結果と管理審査の結果を考慮して継続的な改善の一環として対処すべきニーズや機会がある場合		
	署名する	私は、下記に署名した人として、この監査を正確に完了し、必要に応じて証拠を添付し、この評価を完了と宣言しました。		

ISO 9001:2015 監査チェックリスト — 評価と署名

署名確認

監査人の全名と署名	
-----------	--